

A. T. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

高校生の頃からぼんやり留学したいと考えており、同志社女子大学に進学後、2 年生のときに今後の自分のキャリアを考えたところ、3 年次に 1 年間海外留学をするのがベストだと思ったからです。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

協定留学を目指し始めたのは 2 年生の 5 月頃で、9 月までに IELTS 5.5 を取らなければならないと知ってからも、ダラダラ過ごしていたら、あっという間に 7 月になってしまって、慌てて TOEFL CAMP の参加を決めました。協定留学を考えていて、まだ応募条件のスコアが取れていない方は、このキャンプの参加を強くお勧めします。キャンプ後の（協定留学応募締め切りを考えるとラストチャンスになる）IELTS の試験で 5.5 が取れました。私はかなり時間的にぎりぎりだったので、余裕を持って勉強することをお勧めします。教材は旺文社出版の『IELTS ブリティッシュ・カウンシル公認問題集』を使用していました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学前のオリエンテーション差の際、国際課から頂いた出発までのスケジュール通りに準備していきました。VISA は情報を入力するのにものすごく時間がかかりましたが、申請すると翌日に申請受理のメールが届きました。同じ国に留学する他の方がいれば、協力してビザ申請手続きをする方がいいと思います！

④ 現地到着後

空港に到着したら、ホームステイ先まで Griffith の職員の方が送ってくださいました。事前予約が必要です。オーストラリア到着翌日にあった語学学校のオリエンテーションには、ホストファザーが送ってくれました。うろ覚えですが、確かオリエンテーション後に現地の銀行口座を開設しに行きました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

GELI（語学学校の通称）は Nathan キャンパスにあります。キャンパス内にはカフェやレストランが充実していて、味もそこそこ美味しいので、食に困ることはまずないです！また、とても静かで勉強しやすい環境だと思います。私のクラスは全員で 15 人いて、日本人が私 1 人で、他はインド、中国、韓国、バングラデシュ、ベトナム、モンゴルから来た人たちが構成されていました。みんな本当に仲良くしてくれて、楽しく充実した毎日を送れました。

◆ **授業内容、課題、試験**

授業内容はそこまで難しくありませんでした。次に正規大学に入る人を対象としたプログラムだったので、クラスメイトは勉強熱心で、とてもモチベーションが上がりました。しかし、膨大な量の課題が出るので毎日こなすのに必死でした。最終試験もものすごく大変でした。試験は、与えられた 2 時間で 1 つのエッセイを書き上げるという方式で、これが毎回ありました。思い出したら今でも寒気がするくらいですが、真面目に授業を聞いて、インストラクションを守れば確実にパスできるので、頑張ってください！

⑥ **正規科目履修期間**

◆ **大学の施設・環境について**

Nathan、Gold Coast キャンパス共に施設は綺麗で勉強しやすい環境です。どちらのキャンパスにも通った私の個人的意見ですが、Nathan は茂みに囲まれている静かでコンパクトなキャンパスで、Gold Coast は大規模で、イベントが大規模に行われていて、活気あるイメージです。留学生は Nathan キャンパスの方が多い印象です。

◆ **履修科目**

・ **Language and Communication for Business and Commerce**

留学生を対象とした授業で、ビジネスの基本を学ぶことができます。内容は、語学学校で習ったことがほとんどでした。

・ **People and Places in the Service Industries**

観光学の基礎を学ぶ授業です。2000 字レポートでは、自分で選んだ場所・お店について、様々な視点からアプローチし分析します。

・ **English Words and Grammar**

英語の単語や文法について学べる授業です。英語を第一言語としない私にはかなり大変な授業でした。

・ **Wine Studies**

オーストラリアのワインについて学ぶ授業です。実際にテイスティングを授業内で行うところが特徴的です。ワインが飲める！という勢いで履修したのですが、小テストがほぼ毎回あって、レポートもかなりの量があって大変でした。

・ **Hospitality Services Practices**

この授業は私的に履修して良かった授業 No.1 です！TAFE という専門学校に行って、調理実習、バリスタ研修、バーテンダー研修、サービングの仕方を学びます。1 日 6 時間も授業があって授業後の疲労感はすごいですが、ここまで実用的な授業はなかなか無いのでかなりお勧めです。

・ **Drawing from Life**

デッサンを過去に習ったことがある人向けのアートの授業です。毎授業ヌードモデルが来て、4 時間様々な角度からモデルをチョークや筆で描きます。

◆ **授業、レポート、定期試験**

授業は Lecture と Workshop の 2 つで構成されていて、Lecture は名前の通り講義式の授業で、Workshop は講義の後に少人数で講義の内容を再度確認したり、エキストラな情報を学んだり、ディスカッションを行います。レポートは全て Online 提出です。定期試験は同女と同じ形式です。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

ヨガクラブに入って毎週火曜日にヨガをしたり、週末にキャンプに行ったりしました。また、友達がアウトドアクラブの部長だったので、授業後にハイキングについて行っていました。

⑧ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

語学研修期間はホームステイをしていました。30 代の夫婦に 2 人の息子（6 歳と 8 歳）と約 3 か月間一緒に過ごしていました。平日は朝食と夕食、休日は 3 食ついてくるミールプランを選択しました。学校まではホストファザーに毎日送り迎えをしてもらいました。学校まで車で 15 分くらいの地区に住んでいました。正規科目履修期間は Gold Coast に移ったので、Griffith Village という寮に入りました。結論から言うと、ここの寮はパリピしかないのをお勧めしません。オーストラリアのパリピは日本のパリピの 100 倍騒がしく、毎晩深夜まで叫び声と重低音が鳴り響いていて、とても勉強できる環境ではありませんでした。ルームメイトはランダムに決められます（事前に連絡すれば友達と一緒にになれるそうです）。唯一のメリットは学校まで徒歩 1 分という点です。Gold Coast キャンパスにはこの寮しかないのので、ホームステイするか、Nathan キャンパスを選択（Nathan の寮は静か）するしかないと思います。

⑨ **長期休暇の過ごし方**

Sydney、Melbourne へ友達と旅行へ行きました。また、島へキャンプをしに行きました。

⑩ **留学期間中の就職活動の取り組み**

特にしていません。

Ⅱ. **留学の感想**

① **留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること**

毎日が本当に楽しかったですが、一番の思い出は Australian Day に友達と 3 泊 4 日で Moreton Island にキャンプしに行ったことです。自然が美しい島で、毎日ビーチで泳いで、

釣りをして、サーフィンをして、ハイキングをして、BBQ をして、本当に楽しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

大学の課題と試験前の勉強は本当に大変でした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

午後 5 時にはスーパー以外のほとんどのお店が閉まってしまう点は本当に不便でした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、1 年中気候が良いところです。365 日中 360 日が晴れで、気温も年中暖かく、湿気がないので非常に過ごしやすかったです。また、Gold Coast というリゾート地に大学があるため、観光学の授業はフィールドワークが多く、楽しい授業が多いです。

悪かった点は、Gold Coast は Brisbane と比べて遊ぶ場所が少ないところです。私は、暇な時間はひたすらビーチに日焼けしに行っていました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須です。パソコンの代わりに iPad も便利だと思います。日本食はほとんどこちらのアジアンスーパーで（本当にどこにでもあります）手に入るの、持っていく必要はないです。それと、個人的に洗濯ネットはかなり役に立ちました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニング力とスピーキング力は確実に上がりました。また、語学力だけでなく、コミュニケーション力、精神的な能力も上がったと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は人生においてプラスなことしかないので、計画的に準備して頑張ってください！モチベーションをずっと高く保ち続けることは大変だと思いますが、行きたい大学のホームページを見たり、YouTube で留学生の動画を見たりして、勉強に励んでください！応援しています！

Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

客室乗務員の職に就きたいと考えています。

V. 写真



ホストファミリーとの写真です。本当に仲良しで、私が Gold Coast に引越した後も、何回も会いました。一緒に過ごした時間が長く、楽しく忘れられない思い出がたくさんあります。



Gold Coast キャンパスの図書館です。課題があるときや、試験前はよくここで友達と Potluck study sesh（ご飯を持ち寄っての勉強会）をしていました。



Gold Coast の夕日は本当に綺麗で、何度見ても感動します。この写真は私がお気に入りの場所、Byron Bay で撮りました。



Surfers Paradise で撮った写真です。海とビルが共存しているこの街は本当に魅力的です。



Trimester 2 の試験後に、寮で友達とパーティーしたときの写真です。

S. T. 社会システム学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

大学入学以前から留学したいと思っていました。入学後、大学生活で頑張れることを探した際、単位認定・学費補助・在学扱いである協定留学を目指そうと思いました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

1 年次に国際課で開講している「留学英語基礎講座」を受講していました。協定留学に向けては IELTS のスコアが必要でしたので、専用の単語帳と過去問を買って勉強しました。通学に時間がかかるので、単語の勉強は通学中をメインにしていました。また、2 年次にフィリピンに 1 か月間語学学校に行った際も IELTS のコースを受講しました。まだ日本ではあまり認知度のある試験ではないので、現地での勉強とテキストは帰国後も役立ちました（特に Speaking/Writing）。全英字に抵抗が無ければ、ネットにはかなりの数の IELTS のテキストがあるのでお勧めです。

③ 留学決定から出発までの準備期間

語学勉強に関しては上記の通りにしていました。個人的には、もう少し会話表現を勉強していれば良かったなと思います。出発まではサークルやバイト、友達との遊びを楽しんでいました。（3 年次留学であれば、帰国後すぐの就活なので日本の友達との遊びも貴重な時間です！）ビザ申請等の手続きはかなり大変でしたが、先輩や同大学派遣の同女生と協力しながらしました。

④ 現地到着後

シドニーで飛行機の乗り換えだったので、そこで SIM カードを買いました。当時は不安ですぐに購入しましたが、大学付近やスーパーでも買えるので焦る必要はないです。ステイ先までは大学の送迎サービスで送ってくれます。到着した日にホストファミリーが最寄りのバス停までの道のりを一緒に散歩してくれたり、現地用の交通機関アプリを教えてくれたのでかなり助かりました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

大学内に語学研修をする施設があるので、大学の共有スペースは基本的に使用できます。また、イベント等への参加も可能なので、友達をたくさん作って学部授業について情報を得ておくのもいいと思います。語学学校には様々な国籍の学生がいたので、様々な訛りのある英語を理解する環境が難しくもあり刺激的でした。私がいた期間は大学院を目指す学生が多

かったので、年上で専門知識を持っている友達がたくさんいました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は英語の勉強というより、大学で授業を受ける上で必要なことを英語で学んだ印象です。例えば、エッセイの書き方や参考文献の調べ方など。授業は朝 8 時から 13 時頃までで、毎日課題がかなり出るのでした。

グループプレゼンやディスカッションをする課題がありますが、自分から積極的に発言しないと Speaking を伸ばすのは難しいです。私のクラスはかなりおしゃべりなクラスだったので、初めは皆の Speaking レベルに圧倒されてしまいました。語学学校の先生方は親切で、定期的に自分の悩みや苦戦していることを相談していました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

ネイサンキャンパス自体は山の上にあります。バス一本で市街地に出ることができるので不便はありませんでした。キャンパス内でコアラやポッサム等の野生動物に出会えます。図書館に行けば誰かしら友達がいるので、勉強したり友達に会いに行ったりしていました。

2、3 階は静かな学習エリアなのでメリハリを持って自習できました。24 時間開いている自習室もあるので夜でも勉強できます。その他の施設としては、校内のジムに学割で入会できて、ヨガ等のレッスンもありますし、マシーン類も充実しているのでよく利用していました。

◆ 履修科目

• Introduction to International Business

企業の事例を元に国際ビジネスを学びました。日本でビジネスの授業を履修していたので難しくなかったです。初めての方でも 1 年生向けなので難易度的には大丈夫だと思います。ビジネス理論の勉強というより、国際ビジネスをする上で知っておくべきことが授業内容の半分を占めます。文化・慣習の相違について学べるので興味深い授業でした。グループプレゼンと期末テストが大変でしたが、熱意のある先生で一番面白い授業でした。

• People and Places in the Service Industries

観光学の基本となる授業で、観光地となる場所の定義などを学びました。国内の観光地について調べてレポートを書く他、指定の場所についてフィールドワークをしてレポートを仕上げる課題もあります。ブリスベンの観光業計画について詳しくなるので、シティに出るのが楽しくなるかもしれません。

• Branding and Promoting New Business Ventures

ブランド立ち上げ・事業促進の効果的な手法を学びました。1500 字で自己ブランドの Branding について、3000 字でそのブランドの Promoting についてレポートを書きます。

2 年次以降の授業なので、周りのレベルも少し高いように感じました。

• **Business Communication**

どのようなコミュニケーションがビジネス場面で効果的かを学びました。効果的な話し方・印象の取られ方等、就活前に知っていて損はないなと感じたので履修しました。講義内アクティビティが多く他学生ともよく関わるので、難しくもあり刺激的な授業でした。レポートがかなり大変でした。

• **International Tourism and Hotel Management Principles**

観光に関する様々な理論や定義を学びました。観光学に興味がある方にはお勧めです。専門用語も多いので期末テストに向けた勉強は大変だった気がします。

• **Language and Communication for Business and Commerce**

インターナショナル生を対象にした授業で、内容は語学学校で学ぶことと似ています。Trimester 3 は授業が少なく消去法でこの授業を履修しました。クラス全員が留学生だからこそ発言しやすく仲良くなれます。レポート、グループプレゼン、期末テスト、オンラインクイズが主な課題です。

◆ **授業、レポート、定期試験**

授業はレコードされていて自分のパソコンから見るできるので、復習に役立ちます（再生スピードの変更が可能なので、早口の講師や聞き逃した部分へのアプローチも可能です）。課題は授業によって様々ですが、個人的にはグループプレゼンを通してメンバーと仲良くなるが多かったのでお勧めです。期末テストは Writing 形式で 2 時間のことが基本です。授業内容は勿論ですが、専門用語等のスペルにも注意して勉強していました。ショートエッセイで答える形式も多いので、エッセイの書き方を語学学校期間に習得しておくことをお勧めします。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

バレーボールクラブに短期間だけですが所属していました。他には、他大学のダンスサークルに参加したり、外部のダンススタジオでレッスンを受けたりしていました。また、日本語サークルでは日本に興味がある現地生との交流がとても楽しかったです。様々なコミュニティに参加すると友達の幅も広がるので積極的に参加してみてください。

⑧ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

ホームステイと大学寮に住んでいました。私のホストファミリーは留学生の受け入れに慣れていた上、日本が大好きな家族なので親切に対応してくれました。ステイ先から大学はバスで 30 分程度ですが、語学研修期間は大学職員であるホストが車で送迎してくれました。ホストキッズは 17 歳・15 歳・12 歳だったので各々に忙しく、一緒に遊んだりする時間は普

段無かったですが、家族のイベントには必ず呼んでくれて、常に家族の一員として接してくれたので嬉しかったです。ホストマザーがアジア圏出身だったこともあり、食事はお米やアジア料理が出ることも多かったです。シャワーやトイレは子ども達と共有で、シャワールームが子ども部屋の隣だったので、できるだけ早い時間に済ませるようにしていました（特に時間に関するルールは無かったです）。ホームステイは現地の家族像やローカルな情報を知ることができるいい機会なので、語学学校期間は課題に追われますが、できるだけ午後か夜に済ませるようにして、家族との時間を大切にすることをお勧めします。

大学の寮では個人の部屋があり、シャワートイレ・キッチンが共有でした。私のルームメイトは女子 4 人だけでしたし、皆綺麗好きだったのであまり苦労しませんでした。騒音等の問題ははっきりと伝えて、日常の会話でもコミュニケーションを積極的に図っていました。大学寮に住む大きな利点は、自分の時間を自由に使えること・自炊なので生活力が養えたこと・大学まで徒歩 5 分なので、いつでも図書館やジムに行けて生活サイクルを築きやすいことです。また、ルームメイトとの交流もあるので会話力が伸びやすいと思います。

⑨ 長期休暇の過ごし方

語学研修後、正規科目履修期間開始までの 1 か月休暇は、メルボルンとシドニーに行きました。他には、エアーズロック、ニュージーランド、シンガポールにも行きました。ホームシック中は、次の休みに絶対に一時帰国する！と強く思っていたのですが、都市毎の違い（英語の訛りも文化も違って興味深いです）を体験できたので旅行して良かったなと思っています。学期間にも休みがあるので小旅行の機会はかなりあります。母国に一時帰国する友達も多くいました。また、長期休暇中であっても学生寮が閉鎖されることはないです。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

現地にいる留学生に向けた就活セミナーに一度参加しました。本格的な就活はしていませんでしたが、出来事だけでなく、それに対する自分の対応・感じたことを日記にしていました。自己分析や自己 PR を考える際に役立つと思います。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

沢山あります！日本ではあまりない規模のホームパーティーが印象的です。ブリスベンゴールドコーストに電車で 1 時間半程、車なら 40 分程度で行けるのでよく海に行っていました。とにかく自然豊かな国で、浅瀬で野生のイルカが寄ってきたことは貴重な思い出です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

沢山あります。留学当初はホストが言っていることも、オリエンテーションでの説明も理解が追いつかず辛かったです。初めの 1 週間は頭痛が続いてしまう程、毎日頭がフル回転で必死でした。英語力の不足を痛感することや、ホームシックは誰もが経験することなので、もっと早く吹っ切れて今を楽しむように当時の自分に伝えたいです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

裸足で歩いている人が本当にいること。売っている卵が既に割れていることが多いこと。バスの遅延は日常茶飯事です、出発予定時刻よりも早く出ることも多々あること。例を挙げればキリがないですが…今はそんな習慣も恋しいです！また、オーストラリアは多民族の国なので、様々な多国籍料理やイベントを一度に楽しむことができるので留学地として良かったと思います。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

Griffith はインターナショナル生が多いので馴染み易い分、現地生も留学生に慣れています。現地生と友達になるには積極的に声を掛けた方がいいです。また、大学には意外と多くの日本人学生がいるので、日本語を使いすぎないように意識した方がいいです。大学は良心的に留学生の語学力サポートをしているので、様々な支援があったことは良かったです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

大学には十分な台数のパソコンがありますが、私は自分のものを持参しました。授業は基本的にペーパーレススタイルなので、授業の資料はデータで公開されます。また、文房具は日本のものもいいです。現地にはダイソーやアジアンスーパーがあったので、小物や調味料等はほぼ全て揃います。もし留学期間中に小旅行に行くならば、大きめのバックパックかボストンバッグ、又は小さいキャリーケースがあると便利です。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

英語を使うことに対する恐怖心が無くなりました。帰国後でも、文法や発音・表現の仕方に完璧な自信がある訳ではないですが、英語を使ってコミュニケーションする楽しさを知ることができたことは大きな収穫だと思います。異文化適応に関して、自分の考えと違う事柄に対していい意味で鈍感になったと思います。様々な考え方や習慣があることをストレス無く、一度受け入れてみる柔軟性がついたと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

1 年間海外に住む機会はそう多くないと思うので、興味があれば是非挑戦してほしいです。

外国で現地の友達ができることは勿論ですが、様々なバックグラウンドを持つ他の学生と関わる日々は刺激的です。知り合いが一人もない初めての土地での生活は簡単ではありませんが、私にとってこの 1 年は語学力向上以上の価値のある時間だったと思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来は日本の良さを海外に発信できるような仕事に興味があります。

V. 写真



放課後や週末によく友達とピクニックをしていました。気候の良いクイーンズランドでは誕生日パーティーを外ですることも一般的です。芝生の上でピクニックをする人、読書をする人、日光浴をする人、エクササイズをしている人、各々が楽しんでいる穏やかな雰囲気はとても素敵です！



語学研修の卒業遠足です。学校や学生が企画するイベントに積極的に参加することで、友達作りもオーストラリア観光も満喫できます！



ローンパインに行った際の写真です。カンガルーやコアラは勿論、たくさんの動物と触れ合えます。



友達とクリスマスパーティーをしました。イベントや誰かの誕生日毎に皆が集まってホームパーティーをしました。30、40 人が集まることも！ホームステイ先でも週末は友人家族が集まって BBQ をすることがよくありました。オーギーは皆、社交的で親切です。



エアーズロックに友達と行きました。サンライズ・サンセット共に圧巻の景色でした。移動

が大変なので、ツアーで行くことをお勧めします。現地で出会った他の観光客と仲良くなってとても楽しかったですし、自分の英語に少し自信がついた瞬間でもあります。せっかくの機会、是非たくさんの場所に旅行してみてください！

A. M. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

幼い頃から英語が好きで、英語を活かせる仕事をしたいと考えていたので大学に入ったら留学をしようと決めていました。その中でも、協定留学を考え始めたのは、大学 2 回生の頃です。英語は好きだけど語学力に自信がなかったので、留学初めに語学学校に通う点と大学で英語を学べる点、そして、単位交換制があり 4 年で大学を卒業できるという点に魅力を感じました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

まず IELTS の勉強をしました。協定留学にはいくつか条件があり、IELTS のスコアがその条件の 1 つでした。今まで IELTS のテストを受けたことがなかったので、協定留学を意識し始めた 2 回生のころから目標のスコアに向けて勉強しました。勉強方法として、1 つ目はイギリス英語に慣れることです。IELTS の Listening は、イギリス英語なので発音の違いに慣れるために、IELTS の Listening の音源を通学中に聞くなどして練習をしていました。2 つ目はひたすら過去問を解きました。IELTS は TOIEC ほど参考書がないので、過去問を解いて形式に慣れるようにしました。繰り返し解くことで徐々に慣れてくるので、初めて受ける方でも練習すれば大丈夫です！

③ 留学決定から出発までの準備期間

先輩から情報を提供していただいていたので。私たちの前の代の方はちょうど留学中で LINE でのやり取りでしたが、VISA 申請について等、とても詳しく丁寧に教えてくださいました。VISA 申請は英語でのエッセイや細かい情報の入力もあって大変ですが、入力を頑張った後は比較的早く申請が許可されます。留学までの期間はひたすら友達と遊んで、日本食を堪能しました（笑）もちろん英語の勉強も忘れずに！空いた時間に単語を勉強したり、YouTube で会話表現を学んだりしていました！出発直前には留学に行くにあたっての買い物をして、留学に備えました。

④ 現地到着後

空港には Griffith 大学からの無料バスが来てくれました（出発前に予約案内が来るので、マイページから予約しました）。その後、各ホームステイ先まで送ってくれます。オリエンテーションは次の日から始まりました。ホストファミリーが行き方を丁寧に教えてくれたので、迷うことなく無事に辿り着くことができました。オリエンテーションでは、語学学校の説明や施設の案内をしてくださいました。1 日ですごい量の説明をされますが、全部覚えよう

としなくても分からないことがあればすぐに先生が助けてくれるので、リラックスして過ごしてください。学校までの移動手段はバスです。go card という IC カードにお金をチャージして乗車します。初めは使い方や仕組みが分からなくて困ったんですけど、オーストラリアの方は親切なので、分からないことを伝えたら丁寧に教えてくれました。ついて間もない頃、お金のチャージの仕方が分からなくて残金が足りないまま乗ろうとしたときに、運転手さんが留学生ということを察して丁寧に説明してくれて、特別にそのまま無料で乗せてくれました（笑）そのくらい優しいので安心してください！

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

とても快適でした。大学内のカフェもいろんな国の料理があって飽きずに楽しむことができます。図書館も広々としていて、他の留学生と関わるきっかけにもなるのでよく活用していました。語学学校では、基本的にアジアの方が多いですが、日本ではなかなか関わることはできない国の方もいるので文化や価値観の違いを学ぶことができました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は平日の朝 8 時スタートです。朝が苦手な私にはとっても辛かったですが、このおかげで寝起きが良くなりました（笑）毎日出席が取られるので、私と同じように早起きが苦手な方は頑張ってください！朝が早い分授業はお昼に終わるので、自由な時間が多いです。友達とお昼ご飯を食べたり、勉強したりしていました。授業は 12 人ほどの少人数クラスで行われるので、とてもアットホームな雰囲気です。質問しやすい環境なので、授業で分からないことがあっても大丈夫です。ただ、課題が大変だった印象が強いです。クラスや週によって量は違いますが、慣れるまでは大変なので心の準備をしておいてください！特にテスト前は、ディベートやプレゼンの練習に加えて Writing・Reading テストの勉強になるのでとても忙しかったです。でも、GERI で学んだことは大学での勉強に活かせるので、とてもためになります。Final Exam は合格できるか不安だと思いますが、普段の授業をしっかり聞いて、予習復習をしていれば大丈夫だと思います。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学では Nathan キャンパスから Gold Coast キャンパスに移動しました。敷地は Nathan キャンパスよりも広く快適でしたが、寮は個人的にはあまりお勧めしません。Gold Coast の寮は夜にパーティーをしている人や大音量の音楽が聞こえてくるときが多々あるので、勉強をしたい方や静かに過ごしたい方は Nathan キャンパスがお勧めです。

◆ 履修科目

Trimester2

• **People and Places in the Service Industries**

観光需要や観光業の経済への影響を学ぶ授業です。Final Exam で 3000words のレポートがあり、実際に自分が選んだ場所に調査して書かなければならないので大変でした。

• **Language and Communication for Business and Commerce**

留学生向けの授業です。内容はほぼ GELI の復習で難しくなく、他国の留学生と関われる授業でした。

• **Linguistics 1B - Introduction to the Study of Language II**

音声学の授業です。オーストラリア英語、イギリス英語やアメリカ英語の違いが学べます。また、日本語と英語の違いを比べたりするので、日本に興味を持ってくれている学生も多い印象です。

Trimester2 主に観光学の授業を履修しました。

• **Hospitality Services Practices**

一番お勧めの教科です。大学の近くにある TAFE という専門学校に行って、サービスの基本を学びます。授業内でラテやカクテルを作ったりできるので、みんなで和気あいあいとしながら授業を受けていました。

• **Wine Studies**

授業内でワインを試飲して、ワインの種類の違いを学ぶ授業です。授業自体は楽しかったですが、ワインを飲んで品種を説明するテストは、まじめに授業を受けていてもワインの知識がないと難しかったです。

• **International Tourism and Hotel Management Principles**

観光学の基礎を学びます。ワークショップは留学生が多く、少人数なので発言しやすい環境でした。Final exam もプレゼン・レポート・クイズがありますが、比較的簡単でした。

◆ 授業、レポート、定期試験

授業は基本的に、各科目、講義とワークショップがあります。初めて授業を受けたときは全然付いて行けませんでした。特に、講義後のワークショップのディスカッションでは、全く付いて行けずに落ち込んだのを覚えています。でも、分からないままにしておくのは絶対嫌だったので、授業の後に先生や隣の学生に聞いたり、講義が録音されているのでそれを聞いたりして復習していました。最初は理解するのに復習するのに時間と労力が必要なので、とてもしんどかったです。でも、授業を受けるにつれてだんだん耳も慣れて、録音を聞いて復習しなくてもいいくらい聞き取れるようになりました。なので、ネイティブのスピ

ードに付いて行けるか不安な方も安心してください。

テストは科目によって難易度は異なりますが、分からないことや不安なことがあれば先生や友達を頼りましょう！みんなすごく親切で、絶対助けてくれるので安心してください。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

日本語サークルと赤十字と提携しているボランティアサークルに参加しました。日本語サークルは、日本に興味がある方と交流できるいい機会でした。ボランティアサークルは、実際にボランティアに行くというよりは、赤十字が行っていることを支援するという形でした。例えば、食事会に参加することで寄付に協力するイベントや、大学でパンケーキを配ってそのお金を寄付する等です。次に行うイベントの話し合いも定期的に行われるので、それに参加することで積極性や語学力の向上に繋がるので、興味がある方はぜひ参加してみてください！

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

語学研修期間はホームステイをしていました。出発前に、サイトにあるいくつかのホームステイ先から自分の気になるところにコンタクトを取って決定しました。5人家族(子供3人)のお家に3か月間ホームステイしていました。通学はバスで30分ほどです。子供は習い事をたくさんしていて、両親は看護師さんだったのでいつも忙しそうでした。基本的に放任主義でしたが、たまに親戚の集まりや映画に連れて行ってくれたりしたのでいい思い出になりました。1つ残念だったのは、お父さんがよく子供を怒鳴っていたので、その怒鳴り声が少しストレスでした。

寮では、5人の女の子とシェアをしていました。みんな国籍が違ったので、異文化を学ぶいい機会になりました、また、私のルームメイトはみんな優しかったので、生活面でも勉強面でも協力し合って過ごしていました。ただ、寮全体の環境はあまりよくありません。夜中にパーティーをしていて、とてもうるさい日が多々あるので、勉強に集中したいときは部屋ではなく図書館を利用するようにしていました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

同じ協定留学の学生達と旅行に行きました。GELI 終了後は、約1か月間の休暇があるので Sydney と Melbourne に行きました、飛行機で Brisbane から2時間ほどで行けるのでとてもお勧めです。Trimester2 から Trimester3 の間にある休み期間は、テストの関係で休暇期間に個人差がありますが、私は比較的長く休暇が取れたので、日本から来てくれた家族と Cairns に行きました。どの地域も飛行機でなら比較的近いので休み期間を有効活用してぜひ旅行も楽しんでください！

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

留学の目的や経験したことを就活のときに話せるように、ノートにまとめるようにしていました。また、毎月提出する留学報告書でも心境や状況をなるべく細かく書くようにして、就活のときに活用できるようにしました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

誕生日を祝ってもらったことです。語学学校でできた友達と協定留学を一緒にしていた友達が誕生日会を開いてくれました。留学をしてたった1か月しか経っていなかったのに、まさか祝ってもらえると思っていなくてとても嬉しくて感動したのを覚えています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

環境が変わる度に慣れるのが大変で辛かったです。私は、GELI 終了後に Brisbane から Gold Coast に移動しているので、2 回新しい環境に慣れないといけなくて大変でした。また、しんどいときにすぐに相談できる友達がいないことがとても辛かったです。友達ができるにつれて、友達と過ごすことも多くなったので大丈夫になりましたが、最初はしんどい時期があるかもしれません、、、。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

オーストラリアは自由です。日本人は周りを気にして、恥ずかしい行動や目立つ行動を控える人が多いですが、オーストラリアではみんなとてもオープンです。自分を隠さないのでありのままの自分で生きていて、それができる文化・環境であることが素敵だなと思いました。ただ、自由すぎて電車でのマナーは悪いです（笑）足を上げて座っている人や、大音量で音楽を聴いている人が普通にいます。最初は驚きましたが、今ではそれもオーストラリアらしいなと思います。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点はとにかくみんな優しいです。困っていたら必ず助けてくれますし、親切です。悪かった点は、寮がうるさかった点です。ルームメイトは優しくかったのですが、勉強には向いていない環境なので、Gold Coast キャンパスで寮生活を考えている方は、勉強は図書館でするなど工夫をした方がいいと思います。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン（大学内にもありますが、自宅で勉強するときや講義のときも使うのであると便利）。日本のクレジットカード、常備薬。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は特にリスニング力とスピーキング力が上がりました。元々そんなに話せなかったので、ネイティブみたいに話せる！とまではいきませんが、日常会話に支障がないまでに成長しました。語学力以外では、たくさんの文化の違いを実際に感じる事ができたのも留学の成果だと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

新しい環境に踏み出すのはとても勇気が必要だと思います。楽しいことばかりじゃなく、しんどいこともたくさん待ち構えています。でも、「留学をする」という大きな一歩を踏み出す勇気があれば、きっとどんなにしんどいことでも乗り越えることができます。自分一人で乗り越えるのではなく、辛いときは周りにどんどん頼って大丈夫です！私は、この留学を通して語学力だけでなく精神面も成長することができました。留学をして心の底から良かったと思っています。これから留学に挑戦しようとしている方は、このチャンスを逃さずに思いっきり楽しんでください！応援しています！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

留学での経験を活かして、海外の方と接する仕事（主に航空業界）に携わりたいと考えています。

V. 写真



誕生日会にみんなが BBQ パーティーを開いてくれたときの写真です!とっても嬉しかった!



語学学校のみんなと North Stradbroke Island に行ったときに、クラスのみんなと撮った写真です！



お世話になったホストファミリーと、お別れのときに撮った写真です！
多忙な家族だったけど本当にいい人たちでした！



Trimester3 のほとんどを一緒に過ごした大好きな韓国人の友達と、クリスマスパーティーをしたときの写真です！